

2006年3月期 決算説明会

2006年5月31日
日本板硝子株式会社

今決算のポイント

● 連結損益計算書

(単位:10億円)	2005年 3月期	2006年 3月期	前期比	
売上高	265.0	265.9	100.3%	
売上総利益	70.1	68.9	98.3%	
(売上総利益率)	26.5%	25.9%	-	
経費等	58.1	60.5	104.1%	
営業利益	12.0	8.4	70.1%	原燃材料高と市況要因
(営業利益率)	4.5%	3.2%	-	
営業外損益	1.2	2.0	160.3%	金融収支の黒字化、 持分法投資利益は、若干の減少
経常利益	13.3	10.4	78.6%	
(経常利益率)	5.0%	3.9%	-	
特別損益	-1.8	1.1	-60.1%	特損55億円 (棚卸破棄損、固定資産除却損など) 特益66億円(株式売却益等)
税引前当期利益	11.4	11.5	101.0%	
税引後当期利益	7.6	7.8	102.3%	
(当期利益率)	2.9%	2.9%	-	
1株あたり当期利益(円)	17.1	17.5	102.3%	

● 連結貸借対照表

(単位:10億円)	2005年 3月期	2006年 3月期	前期比 増減
流動資産	167.7	288.7	121.0
（うち、現預金）	(64.2)	(180.7)	△ 116.5
固定資産	259.2	307.2	48.0
総資産	426.9	596.0	169.1
負債	218.9	354.4	135.5
（うち、有利子負債）	(121.3)	(236.9)	△ 115.6
少数株主持分	2.7	3.3	0.6
資本	205.3	238.3	33.0
資本金	41.1	41.1	0.0
その他	164.2	197.2	33.0
総資産	426.9	596.0	169.1
株主資本比率	48.1%	40.0%	-
デッドエクイティレシオ	0.59	0.99	-
BPS(円)	463.3	537.9	-
ROE	3.7%	3.3%	-
ROA	3.6%	2.0%	-

CB発行(1,100億円)による現預金増

有形固定資産 +53億円
無形固定資産 +31億円(基幹情報システム)
保有株式の時価評価増 +400億円

CB発行 1,100億円

保有株式の時価評価増

買収費用のためのCB発行により、
株主資本比率、D/Eレシオ、ROAなどは
一時的な悪化。

ROA=(経常利益+支払利息)／総資産

● 連結キャッシュフロー計算書

(単位:10億円)	2005年 3月期	2006年 3月期	前期比
営業CF	16.8	15.5	△ 1.3
投資CF	-0.3	-12.1	△ 11.9
フリーキャッシュフロー	16.5	3.3	△ 13.2
財務CF	-7.8	111.2	119.0
期首現預金残	55.4	63.5	8.2
期末現預金残	63.5	179.2	115.6

税前利益 + 119億円
 償却費 + 130億円

固定資産取得 △ 186億円
 有価証券売却 + 76億円

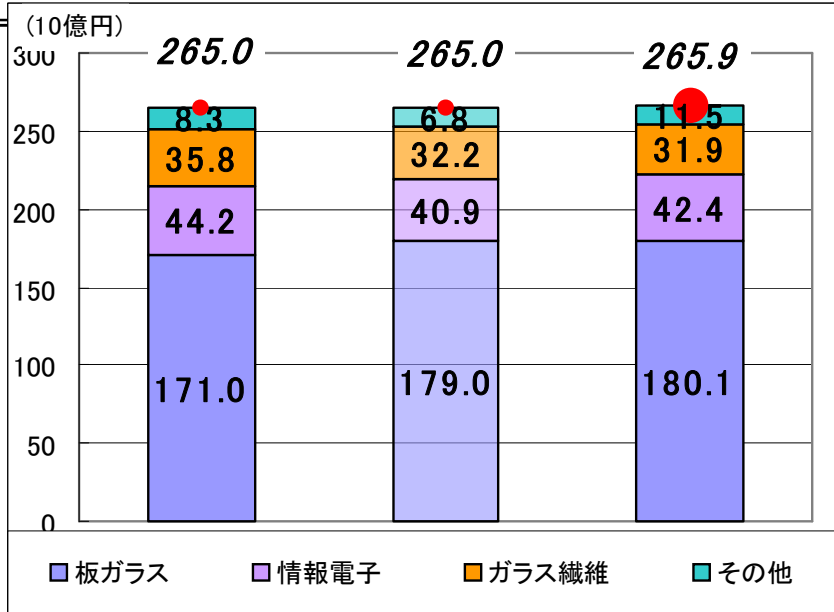
CB発行 + 1,100億円
 借入純増 + 136億円
 社債償還 △ 96億円

(単位:円)

1株あたり配当金(円)	6.0	6.0	0.0
-------------	-----	-----	-----

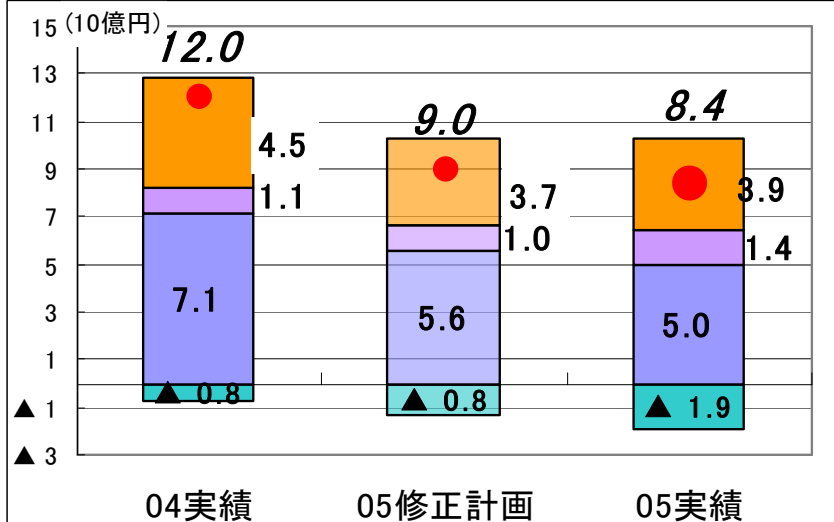
●セグメント別売上高、営業利益推移

売上



(10億円)	2004年度 実績	2005年度 修正計画	2005年度 実績
板ガラス	171.0	179.0	180.1
情報電子	44.2	40.9	42.4
ガラス繊維	35.8	32.2	31.9
その他	13.9	12.9	11.5
売上高計	265.0	265.0	265.9

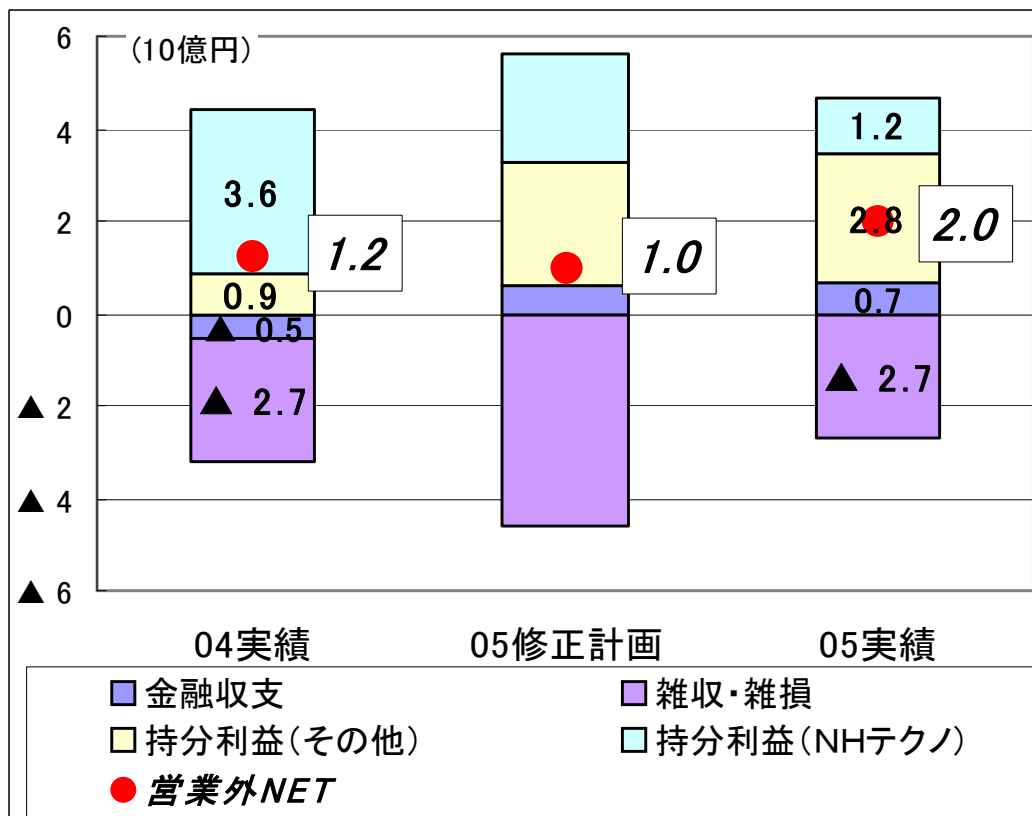
営業利益



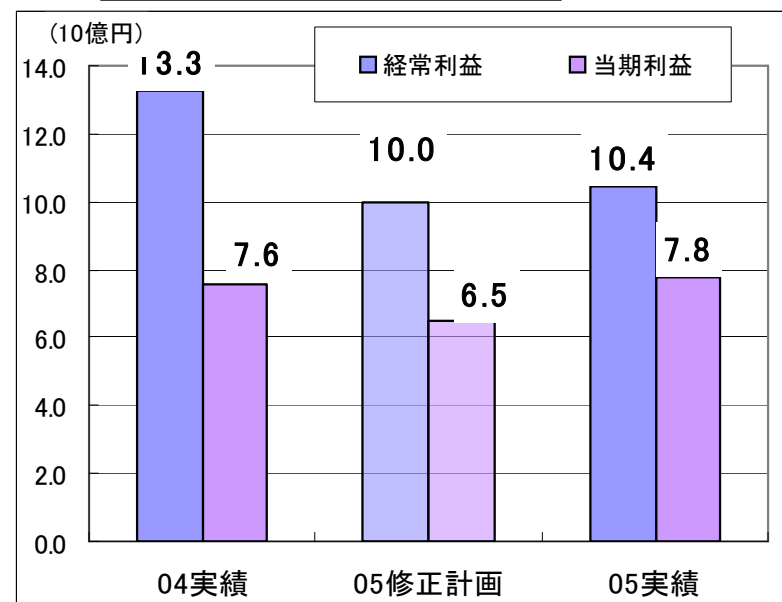
(10億円)	2004年度 実績	2005年度 修正計画	2005年度 実績
板ガラス	7.1	5.6	5.0
情報電子	1.1	1.0	1.4
ガラス繊維	4.5	3.7	3.9
その他	-0.8	-1.3	-1.9
営業利益計	12.0	9.0	8.4

● 営業外損益、経常利益、当期利益推移

営業外損益



経常利益、当期利益



セグメント別・実績概況

板ガラス分野(硝子・建材)

建築用ガラス

(硝子建材事業)

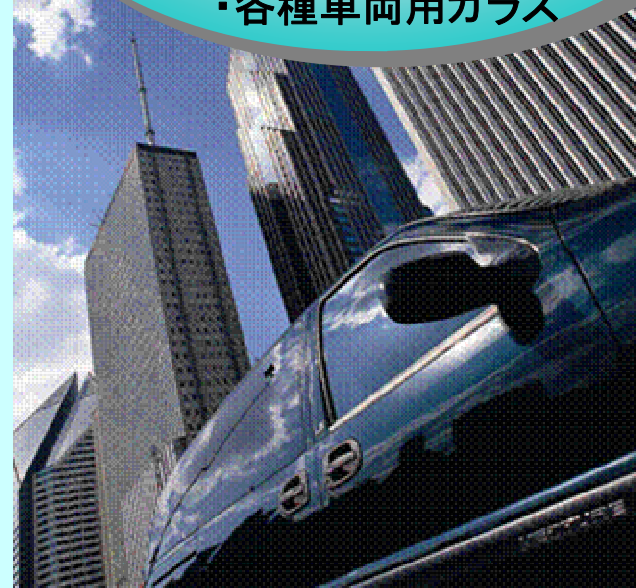
建築用ガラス、建材



自動車用ガラス

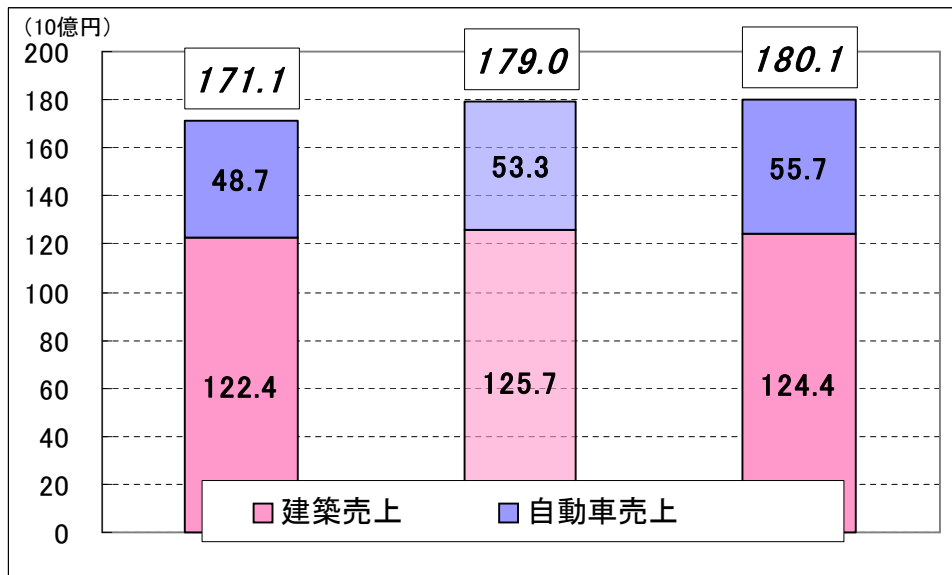
(輸送機材事業)

- ・自動車用ガラス
- ・各種車両用ガラス



● 板ガラス分野(硝子・建材) —実績概況—

売上



<売上>

国内建築

- ・全体では微増収。防犯ガラスは、生産能力増強もあり大幅増。
- ・製品価格改訂(4/10発表)の交渉に全力。

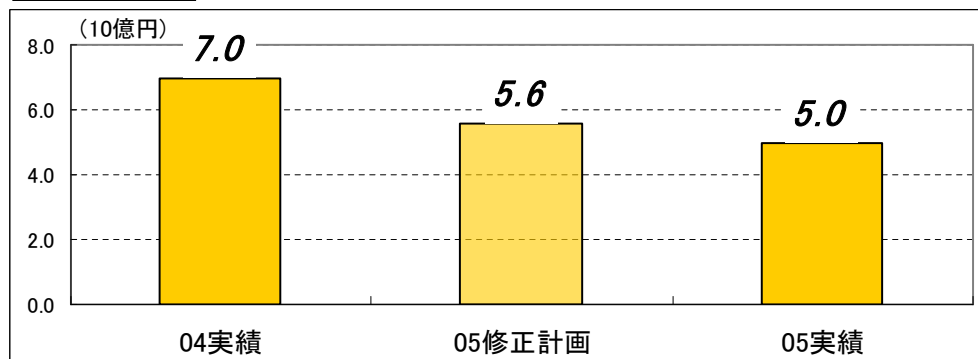
海外建築

- ・マレーシア新窯効果で増収。
- ・今後、原料高と競争激化への対処が課題

自動車ガラス

- ・新車向け出荷増と、新規連結効果。
(自動車補修ガラス販社; 年間増収 約40億円)
- ・合わせガラス新設備(舞鶴)の稼動、高付加価値品(IRカットガラス)増による業績拡大に期待。

営業利益



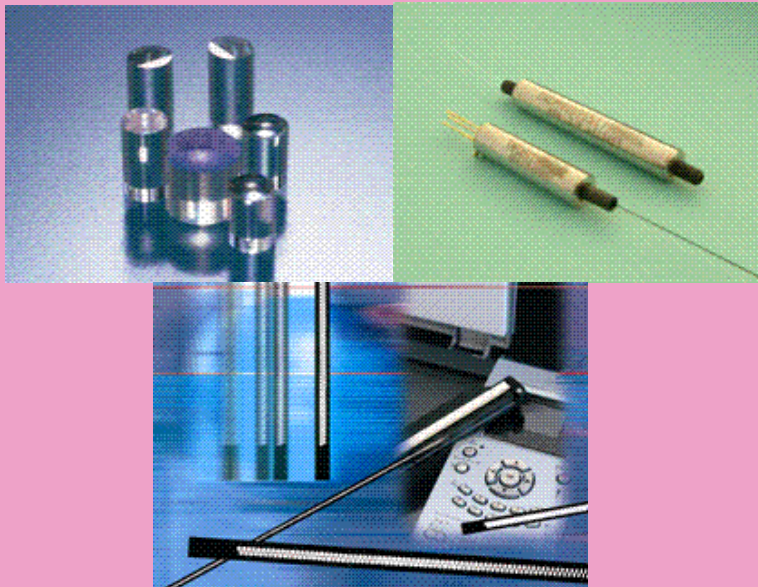
<営業利益>

- ・ほぼ、原燃材料(重油等)高騰の影響により減益。
原油価格は今期も減益要因(約10億円)
今後の製品価格への反映成否が鍵。

情報電子分野

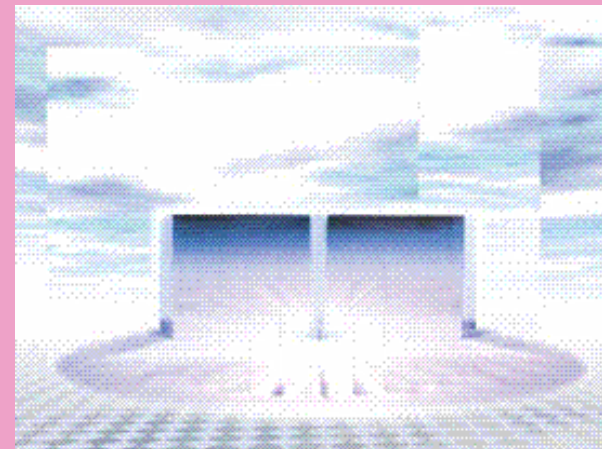
情報通信デバイス

SLA、SLED、化学強化ガラス他
OA機器用部品、セルフロックマイクロレンズ、
各種通信用デバイスなど



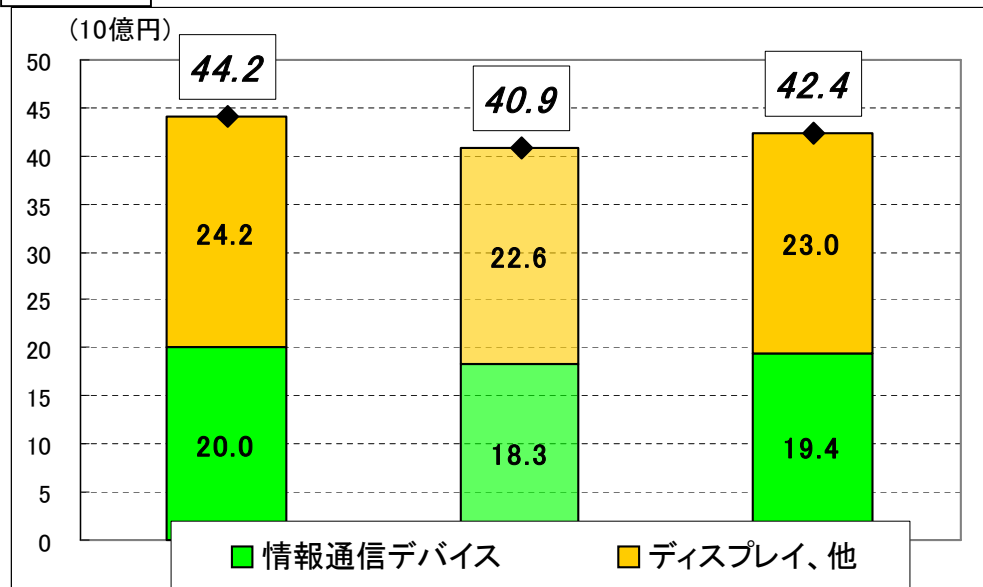
ディスプレイ

液晶用基板、PDP基板など

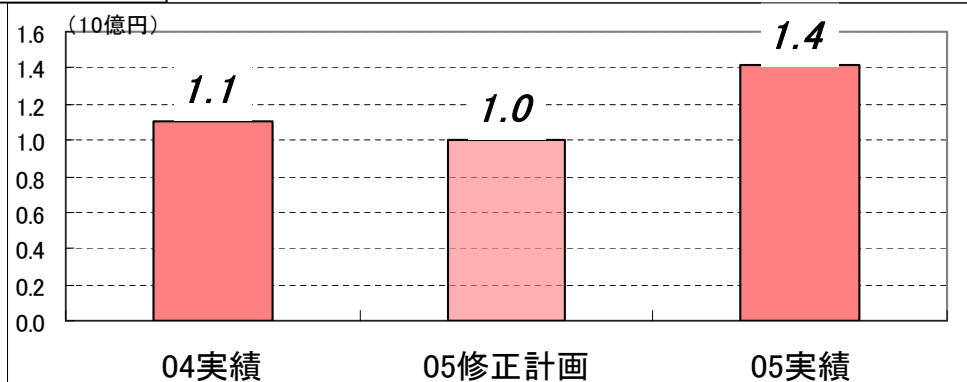


● 情報電子分野 —実績概況—

売上



営業利益



<売上>

情報デバイス(05年度売上 175億円)

インクジェット複合機向けは順調だが、光源部品(セルガイド)は競合継続で減収。複合機市場は依然継続。今期は売上増。

通信デバイス(05年度売上 19億円)

緩やかな回復。

モジュールの受注は、より採算重視に。

ディスプレイ(05年度売上 230億円)

中小型液晶分野の市況回復遅れ、減収。PDPは未だユーザ最終認定に至らず。

<営業利益>

数量減による利益減を通信の赤字縮小で挽回

<TFT液晶基板ガラス>

(持分法(営業外損益) NHテクノグラス)

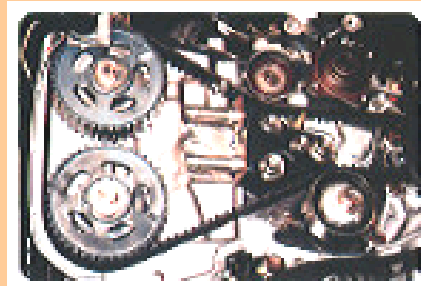
生産トラブル復旧が遅れ、大幅減益。

上期までに緩やかな復調を目指す。

ガラス繊維分野

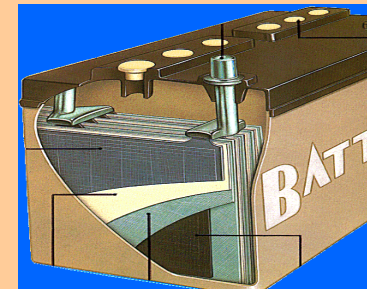
ゴムコード

自動車用タイミングベルト



バッテリーセパレータ

自動車、無停電装置などの鉛蓄電池



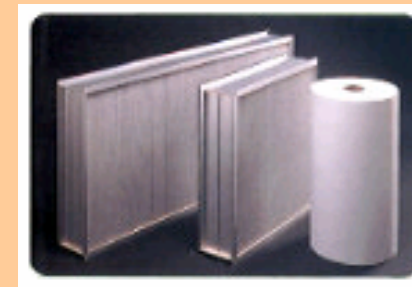
ブレーク他

耐食、プラスチック強化材
光輝性顔料素材



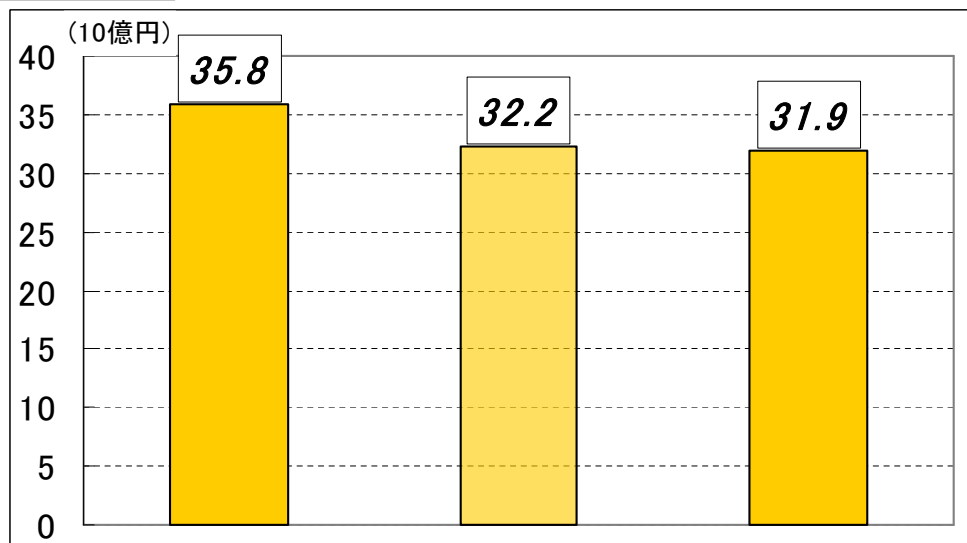
フィルター

クリーンルーム用など

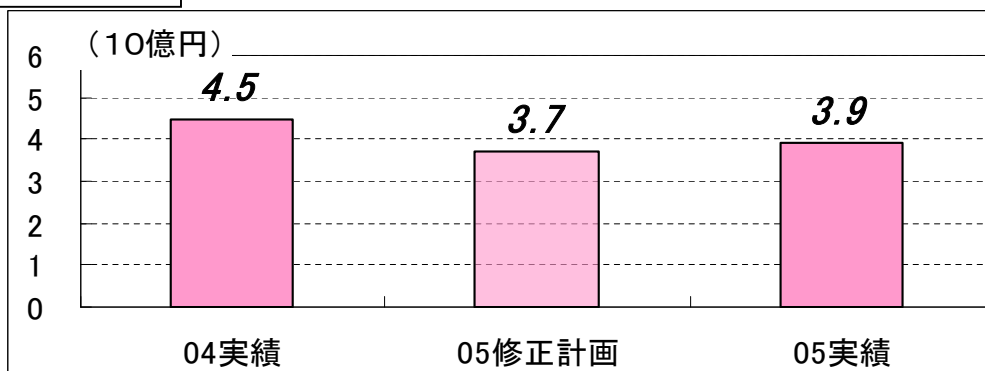


● ガラス繊維分野 —実績概況—

売上



営業利益



<ゴムコード>

欧州向け高機能品を中心に引き続き堅調。
中国蘇州拠点の早期戦力化が課題。

<フレーク>

耐蝕分野などが堅調。
メタシャインは足踏み。新用途開拓活動中。

<セパレータ>

自動車用バッテリーの国際競争激化は
今後も継続。
中国天津拠点活用でコスト削減。

<エアフィルタ>

半導体、液晶の新設工場向け需要の低迷。
今期の投資案件は増加傾向にあり、
回復を狙う。



今期業績見通しについて



● 当社の今期業績見通しについての考え方

1. 買収手続きが完了する(現時点で6/16を予定)までは、ピルキントン社は、英国上場会社であり、英国市場の上場規制を受けるため、ピルキントン社業績見通しは現時点で開示不可。
2. 買収手続き完了後、速やかに当社との連結業績見通しの集計を開始し、改めて今期業績見通しを開示予定。
3. 損益計算書ベースでは、ピルキントン社は第2四半期からの連結化の予定。
4. 今後、統合会社の新長期ビジョン、中期経営計画については、今年末までを目処に策定し、発表予定。

● <ご参考> 転換社債型新株予約権付社債について

1. 発行額
1,100億円
 2. 転換時期
買収手続きクロージング後に転換開始可能(現時点では6/16~)
 3. 転換価格
毎月第1、3金曜日に、3日間VWAP平均の91%に修正
(5/19の修正後価格 561.8円)
 4. 転換価格の上限、下限
上限 1010.4円~下限 336.8円
 5. 転換されうる株数の幅(現発行済み株数443,946千株に対する希薄化率)
108,867千株~ 326,603千株
(24.5%~ 73.6%)
- <現時点の転換価格561.8円で全額転換された場合の株数、希薄化率>
195,799千株(44.1%)

● <ご参考> 前提指標

		2004年度 通期実績	2005年度 上期実績	2005年度 通期実績
為替	(円/US\$)	110	111	113
原油(ドバイCIF)	(US\$/B)	38	50	54
減価償却費	(10億円)	12.6	6.0	13.0
設備投資	(10億円)	13.7	9.9	21.2
研究開発費	(10億円)	7.9	3.6	7.6
フリーキャッシュフロー	(10億円)	16.5	0.6	3.3
有利子負債	(10億円)	121.3	124.9	236.9
人員	(人)	13,385	13,653	14,181
国内住宅着工	万戸	119	-	124
国内非居住床面積	百万m ²	62	-	72
複層普及率(戸建)	%	57	-	59
当社出荷機能ガラス比率	%	64	68	68
自動車生産台数	万台	1,051	-	1,080
SML出荷	万个	200	110	230

原油価格反応度

1ドル/1バレルの変動で約1億円の減益要因

為替反応度

1円の円安で約0.6億円の増益要因

● ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

その要因の主なものとしては、主要市場（日本、欧米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。